

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	利用者同士が楽しく関わりながら作業やゲームができる状況を職員がつくるが、利用者の個々の能力や性格、個性の強さから、その状況が乱れる傾向がある。常に職員が傍で介入する必要がある。	すべての利用者同士が相性が良いわけではなく、むしろ関わりあうとストレスになる場合がある。職員の介入が必要なグループと、介入なく自ら利用者同士活動できる状況と関係づくりができるグループが作れるよう目指したい。	どの利用者でもできる仕事として、具体例“落とし紙たたみ・フキやイモツルの皮むき・ラジオ体操”等の活動をみんなで一緒に行う。個々の能力や性格に応じた作業を、適切にラウンドできるように職員の周知に申し送りの形で取り組んでいる。	12ヶ月
2	42	自分で歯や入れ歯の手入れができる人は、自分で行っている。その他の人は職員が行う。週に2回ポリドント洗浄を行っている。自分で手入れができる利用者の羞恥心から、人前で入れ歯をはずすことがないため、いればの状態の把握が困難。	すべての利用者の口腔内の状態を把握し、ケアができるようにしたい。	自分の歯や入れ歯に違和感を感じたら、協力医療機関と連携し対応している。歯磨き道具を準備し、就寝前に歯磨きの声かけを行っている。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。